Annual Report from SAPPORO INTERNATIONAL COMMUNICATION PLAZA FOUNDATION

公益財団法人 札幌国際プラザ2024 年度活動報告

発行 2025.8

時計台前から

私たちは世界とあなたを結ぶパートナーです。

公益財団法人札幌国際プラザは、国際都市さっぽろの
更なる発展を目指して地域の特性を活かした
交流をすすめています。
異なる言語・文化を尊重しあい、共に生きるまちづくりや、
MICEの振興、人材の育成を行っています。

ビジョン

わたしたちは、みんなにやさしく魅力と
活力あふれる国際都市札幌を創造します。

ミッション

Ⅰ 様々な人、文化、情報が集まり、繋がり、広がる拠点となります。
Ⅱ 市民主体の多文化交流をプロデュースします。
Ⅲ MICEを通じた人々の交流と地域経済の活性化を推進します。

PLAZA PICK UP NEWS

PICK UP 01

姉妹都市提携65周年記念 ポートランド親善訪問団来札

米国オレゴン州ポートランド市との姉妹都市提携65周年を記念し、2024年9月26日（木）から28日（土）までテッド・ウィーラー市長（当時）をはじめとする親善訪問団32人が札幌を訪れました。札幌国際プラザでは、市民ボランティアによる着付け体験や時計台案内などのおもてなしプログラムで歓迎しました。

最終日には、ポートランド親善訪問団と札幌市民との交流イベント「行ったつもりでポートランド～お互いのまちの魅力を語ろう～」を開催し、両市合わせて54人が参加。互いのまちの魅力について語り合い、海を隔てて暮らす友人らを身近に感じながら、楽しいひとときを過ごしました。

ボランティアの皆さんと記念撮影

交流イベントで会話を楽しむ両市の皆さん

PICK UP 02

札幌市立高校生ポートランド派遣 6年ぶりに再開

2025年3月、コロナ禍による休止期間を経て、札幌市立高校生ポートランド派遣事業が再開されました。札幌市立高校7校から15人が、8泊10日の日程で米国・ポートランド市を訪問。ホームステイをしながら現地高校での授業や施設でのボランティアなどを体験したほか、「食」や「医療」など各自が設定したテーマに沿った探究活動にも取り組みました。

滞在中は、様々な人との出会いや文化の違いなどに触れ、生徒たちそれぞれが視野を広げる機会となりました。

グラント高校で授業を体験する生徒たち

ポートランド市長を表敬訪問

PICK UP

03

様々な事業で異文化理解を促進

■国際交流員による総合学習支援

市内の小・中・高校等が行う「総合的な学習の時間」において、国際交流員が各国の文化について授業を行いました。

実施件数　計38件　　受講児童・生徒数　2,282人参加

■SAPPOROこども未来トーク

8月の3日間、小学6年生22人が様々な外国人市民との対話や交流を通して多文化共生の視点から札幌のまちのあり方を考えました。

SAPPOROこども未来トーク

■各種セミナー・イベント

国際交流員やさっぽろ外国人市民パートナーが各国の文化を紹介し、多くの市民が参加しました。

●国際理解イベント「世界のあそび」（26人）

●ヨーロッパでもっとも若い国！コソボを知るセミナー（36人）

●札幌・大田姉妹都市提携15周年記念　第45回韓国を知るセミナー「パンの都市、韓国・大田市を知ろう！大田市スタンプラリーも楽しもう」（52人）

第45回韓国を知るセミナー

●札幌・瀋陽友好都市提携45周年記念　第39回中国を知るセミナー「国際交流員と一緒に瀋陽への旅気分を味わおう！」（45人）

PICK UP

04

大田とのMICEパートナーシップ強化

2025年2月、札幌の姉妹都市である韓国・大田広域市にある大田観光公社と国際会議等のMICEの誘致に向け、情報共有や共同PRを強化する「MICE発展のための覚書」を締結しました。国際プラザ・コンベンションビューローでは、両市が姉妹都市提携した2010年に、同公社との交流をスタートさせ、2025年に15周年の節目を迎えました。両団体としてこれまで以上に交流を深め、海外への共同PRや人的交流、情報共有、両市のビジネスイベント受入環境の整備に関する相互協力など、更なる連携強化を目指していきます。

2025年札幌市は、中国・瀋陽市との友好都市提携45周年
ロシア・ノボシビルスク市との姉妹都市提携35周年
韓国・大田広域市との姉妹都市提携15周年を迎えます！

2024年度実績

札幌国際プラザの活動紹介

01 さっぽろ外国人相談窓口

●2024年度相談対応件数

1,616件

●外国人のための無料専門家相談会
（弁護士、行政書士、税理士）

隔月 6回 92人参加

●さっぽろコミュニティ通訳派遣件数

240件（8言語）

●札幌生活オリエンテーション
（春26人、秋11人）

全2回 37人参加

●外国人のためのオンラインセミナー
（外国人雇用・労働、税の確定申告）

全2回 31人参加

02 外国につながる子ども・子育て支援

●外国につながる子どものための学習支援

全15回 延べ 316人参加

●外国につながる親子のための小学校入学ガイダンス

9か国・地域 28人参加

小学校入学ガイダンス

●（初開催）外国につながる子どものためのプレスクール（試行）

全5回 延べ 20人参加

●高校進学ガイダンス
（札幌市教育委員会主催）

10か国・地域 33人参加

●外国につながる親子ミートアップ

11か国・地域 35人参加

03 札幌の地域日本語教育を支える

■日本語学習支援の担い手を増やすための取組

「日本語」をキーワードに、外国人とともに暮らし支えあうこれからの多文化共生社会について考えるセミナーや講座を開催しました。

●日本語学習支援者になるための講座

全3回 修了者 37人

●セミナー 外国人とともに暮らすことばとコミュニケーション

第1回 2024年5月18日（土） 講師：武蔵野大学グローバル学部教授 神吉 宇一氏
第2回 2025年3月8日（土） 講師：（特非）多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井 佳彦氏

参加者 延べ 144人

■日本語習得を支援するための取組

●はじめての にほんご くらす

日本語学習経験のない外国人を対象にした初級クラス。

4コース（各6回）28か国・地域 延べ 283人参加

あいさつから学ぶ参加者

●にほんごで はなそう！ぺらぺらすいようび

日常生活で必要な日本語会話の力を、交流しながら身につける場として、毎週水曜日に実施しています。

参加者数 延べ1,890人参加
（うち、学習者37か国・地域 延べ1,083人）

グループになって日本語でお話し

04 札幌で安心して生活してもらうために ～外国人を対象にした防災啓発～

災害に関する知識や経験、習慣などの違いにより、災害時に適切な避難行動をとることが困難な外国人に対し、正しい防災知識を身につけてもらうことを目的として防災啓発事業を実施しています。

●札幌市総合防災訓練への参加

豊平区で行われた札幌市総合防災訓練に外国人住民が参加し、地下鉄からの避難訓練や毛布で担架を作る方法などを学びました。

参加者数13か国・地域 25人

毛布で担架を作る体験

●外国人のための防災デー

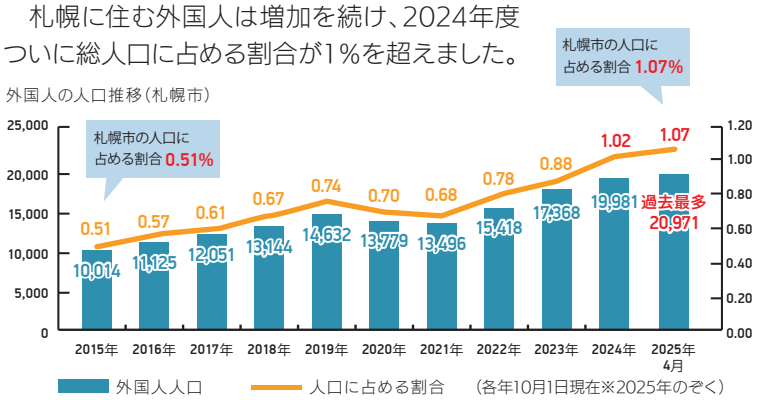
札幌市民防災センターでのAED、煙道等の体験のほか、非常用トイレの使い方や段ボールベッドの組み立てなど避難所の様子を体験してもらいました。

参加者数13か国・地域 41 人

心肺蘇生法を学ぶ参加者

外国人人口最多更新継続中

札幌に住む外国人は増加を続け、2024年度ついに総人口に占める割合が1％を超えました。



札幌市に住む外国人（2025年4月1日現在）
人数 **20,971人↑**

国籍・地域別（多い順5か国）

- 中国 …… 5,389人
- 韓国 …… 2,692人
- ベトナム …… 2,557人
- ミャンマー …… 1,745人
- インドネシア …… 1,497人

参考：札幌市ICT活用プラットフォーム
DATA-SMART CITY SAPPORO
札幌市／国籍・地域別外国人住民登録者数
https://ckan.pf-sapporo.jp/dataset/kokuseki_chiiki_gaikokujin

05 市民ボランティアによる様々な活動

■外国語ボランティア

国際交流や外国人住民の生活支援などの場面で、外国語を使ってコミュニケーションのサポートをしています。

登録者数 290人　言語数 10か国語　派遣件数 5件

■ホームステイボランティア

国際交流等を目的に札幌を訪れる外国人に日本の家庭生活を体験してもらい、身近な国際交流の機会を提供しています。

登録家庭 89家庭　プログラム 8件（ホームステイ 4件 ホームビジット4件）　受け入れゲスト 70人 9か国・地域　受入家庭数 延べ33家庭

JENESYS中国高校生のホームビジット（11月）

■日本文化体験ボランティア

主に国際交流等の目的で札幌を訪れた外国人に、伝統的な日本文化を体験してもらい、理解を深めることを目的としています。着付、茶道、華道、書道の4種目があります。

登録者数 41人　活動件数 3事業　活動人数 延べ23人

ポートランド市グラント高校生 夏期札幌研修（7月）

■さっぽろ外国人市民パートナー

自らの能力や経験、文化的背景を活かし、札幌のまちづくりに協力してくれる外国人市民ボランティアです。

登録者数 45人　活動件数 7事業

■札幌災害外国人支援チームSAFE

災害時に、国際プラザに設置される災害多言語支援センターと協力し、外国人の支援にあたるチームです。

認定メンバー 17か国・地域 45人 19言語対応

06 札幌留学生交流センターの管理・運営と事業

2024年度 年間入居率 91.7% 延べ35か国・地域の留学生が居住　相談対応 457件　交流事業 17事業

札幌留学生交流センターは、国際プラザが札幌市の委託を受けて管理・運営している留学生用宿舎です。単身用80室、家族用20室の計100室を備え、様々な国・地域の留学生とその家族が生活しています。

ここでは、留学生たちが安全・安心に過ごし、地域と交わって生活を楽しみながら勉学ができるように、施設管理だけでなく、入居者の相談対応やその子どもたちの学習支援、交流事業などを行っています。

交流事業では、町内会との連携による各種イベントやボランティアのご協力による日本文化体験、留学生の就職相談会などを実施し、センターならではの体験を提供しています。

町内会の方々との料理交流会

07 2024年度MICE開催件数

2024年度は、複数の施設にまたがる大型コンベンションの開催をはじめ、台湾・韓国からのインセンティブ（1,000名を超えるツアーも！）が本格回復した年になりました。

コンベンション開催件数

443件

うち国際会議	59件
国内会議	384件
うち現地・対面	266件
ハイブリッド	139件
オンライン	38件

国際会議協会（ICCA）会議件数・都市ランキング　24件　国内4位

インセンティブ支援実績

74件
10,784人

国・地域別

台湾	22件	4,909人
タイ	14件	937人
インドネシア	12件	784人
マレーシア	8件	450人
韓国	7件	2,257人
香港	4件	616人
その他		

大型インセンティブ好調

国際プラザ・コンベンションビューローの視察支援等の誘致活動が実り、2025年5月から6月にわたり、インドネシアに拠点を置く大手保険会社による910人のインセンティブツアーが開催されました。インドネシアからのツアーとしては、当ビューローの支援実績の中でも最大規模となります。開催支援として地元製菓会社と協力し、企業ロゴ入りオリジナルクッキーを提供したほか、札幌市内で行われたガラディナーでは、よさこい演舞を通じて北海道らしさを表現し、参加者から好評を得ました。

08 サステナビリティへの取り組み

国際プラザ・コンベンションビューローが参加している、「GDS-Index」※では、2023年に引き続き65%のスコアを維持しました。2026年までに70%の達成を目指しています。

また、一般社団法人さっぽろ北海道MICE振興協会（MESH）との連携のもと、道内での植林活動や森林管理、野生生物の保護支援を通じたカーボンオフセット事業を推進。CO2排出量の削減および環境負荷低減に向けた取り組みを継続しています。

※GDS-Index　持続可能な観光・MICE都市としての国際的評価指標

MICE都市のサステナビリティの国際指標（GDS-Index）の達成度

65%

2024年度カーボンオフセット事業の寄付額

53,865円

アニュアルレポート

詳しくは国際プラザ・コンベンションビューローアニュアルレポートをCHECK！

https://www.conventionsapporo.jp/about/Annual%20Report_2024_JP.pdf

★ プラザサポーターズ 札幌国際プラザ賛助会員企業のご紹介 ★

北海道・札幌のまちをより良くしたい、元気にしたい、そんな法人賛助会員の皆様の地域貢献活動や、地域へそそぐ熱い思いをご紹介いたします

池田食品株式会社

節分という食文化を伝え、豆まきを存分に楽しめるイベントを開催

池田食品は1948年の創業以来、豆菓子を作る会社として、節分という歳時を食文化として伝えるとともに、地域の皆様に節分を身近に感じてもらうために何ができるかを考えてきました。2003年より鬼に扮した従業員と豆まきを楽しめる「池田の節分フェス」を毎年開催しています。

期間中は約1万人の来場者でにぎわい、小さなお子様やご自宅で豆まきができない方などに、会場で思いきり豆まきを楽しんでいただいています。鬼の登場に泣きわめいていた子どもたちが数年後に笑顔で豆まきをする成長した姿を見るたびに、文化の継承を実感し、身が引き締まる思いです。

「北海道に誇れる、お菓子メーカーになる。」をビジョンに掲げ、地域の皆様の笑顔を広げていけるようなお菓子づくりに励んでまいります。

名物の赤鬼さんと仲間たち

ポートランド・グラント高校との交流

札幌物産協会の会長として弊社会長・池田光司が姉妹都市ポートランドを訪問時に、熱心に日本語を学ぶ高校生たちと出会いました。活きた実践語学を体感してほしいと考え、販売体験を企画。現地の親の会や先生たちの理解とポートランド姉妹都市協会のボランティアの皆さんの協力を得て、「札幌・北海道フェア」での販売研修が実現できました。

販売研修の様子

活動を支えてくださる賛助会員を募集しています

札幌国際プラザは、みんなにやさしく魅力と活力あふれるまちを目指し、在住外国人支援や異文化理解・国際交流の推進、国際会議や企業旅行など（MICE）の誘致を図ってまいります。さらに充実した活動を続けていくために、賛助会員としての継続的なご支援をお願いいたします。

法人会員：125団体
個人会員：289人（2025年3月31日現在）
年 会 費：法人1口 20,000円
　　個人1口　3,000円　※1口以上、何口でも結構です。
※当財団へのご寄付は、寄付金控除等の税の優遇措置の対象となります。

ご入会・お問い合わせはこちらから

ご入会・お問い合わせ　ウェブサイト（または右の二次元コード）から、または企画事業部総務企画課までお問い合わせください。
☎011-211-3670　Email：sanjo@plaza-sapporo.or.jp

札幌市立高校生ポートランド派遣事業 ご支援のお願い

昨今の円安や渡航費の高騰により、派遣生徒の参加料が非常に高額となっています。札幌国際プラザでは、生徒の経済的負担を軽減するため、寄付金を募集しております。今後も高校生が海外での学びの機会を得られるよう、ご支援をお願いいたします。（事業の概要は1ページをご参照ください）

寄付のお申し込みは、札幌国際プラザホームページで受け付けております。

寄付のお申込みはこちら

■編集・発行　公益財団法人 札幌国際プラザ　公益財団法人札幌国際プラザは、札幌市の出資団体です。

ホームページ　YouTube　Instagram

1987年 6月	任意団体札幌国際交流プラザ運営委員会設立、札幌国際交流プラザ開設
1991年 7月	財団法人札幌国際プラザ設立
2011年 4月	公益財団法人へ移行
2018年 4月	札幌留学生交流センターの指定管理者となる
2019年11月	さっぽろ外国人相談窓口開設（札幌市より受託運営開始）

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル 3F　TEL：011-211-3670
MN Bldg., Kita1 Nishi3, Chuo-ku, Sapporo 060-0001 JAPAN　FAX：011-211-3673
URL: https://www.plaza-sapporo.or.jp/　E-mail: sicpf@plaza-sapporo.or.jp

■印刷　総合商研株式会社　環境負荷を少なくする為に、植物性インキを使用し、回収廃油を発生させない「水なし印刷方式」を用いた地球にやさしい印刷物です。